

大げやき

第14号
5.3.23
文責:校長

●春休みのめあて

健康な生活を過ごそう

六年生の皆さん、卒業おめでとうございます。一年間、最上級生として、学校全体のことをよく考え、行事では率先して活動してくれました。登校班、委員会、クラブ活動、ボランティア活動では、責任と自覚を持って働いてきました。六年生が学校を支えてくれたことに、感謝の気持ちで一杯です。中学校でも、みなさんのチームワークで、自分達の夢を実現させてください。活躍を願っています。



心のこもった六年生の感謝の会



十四日(火)、体育館で、六年生が私達教職員のために、感謝の会を開いてくれました。初めに、代表の花見咲愛子さんから、自分達の六年間の成長と、先生方への感謝を伝えました。そして、グループごとにクイズや思いの発表、全員合唱などの楽しい時間を過ごすことができました。クイズはとても難しく答えることができませんでしたが、タブレットを使って、写真やイラストを加えて工夫していました。歌もとても上手で、気持ちがあたたかくなりました。六年生の気持ちが伝わる招待状や

バインダーのプレゼントなど、丁寧に作られており、気持ちがよく伝わってきました。六年生三十五名が、小学校生活を仲良く、楽しく過ごしてきたことも伝わりました。卒業前の時間がない中、準備は大変だったと思いますが、職員全員が、六年生のお陰で幸せな気持ちになりました。

オンラインで六年生を送る会

十四日(火)に「六年生を送る会」を行いました。昨年度と同じく、感染防止のために、異学年の交流を避けながらオンラインで行いました。六年生は、けやきルームに入場し、他の児童は各教室において、ネットをつないで大型スクリーンで六年生や五年生のクイズを見ながら参加しました。五人



の中で本当に氷水を入れたい、足つぼマッサージの上で立ったりしている人を当てるゲームをしました。演技上手な五年生で、誰が正解か分からないくらいに、伝言ゲーム

をしました。各学年で長いメガホンを持つてクラス全員に文章を伝えていました。二十人もいるのに正確に伝えることができて、正解したときには、とても喜んでいました。五年生が、六年生や下級生を喜ばせようと企画や運営をがんばっていました。とても頼もしく感じました。



後半は、鼓笛移杖式でした。五年生と六年生で行いました。初めに旧鼓笛隊が校歌を演奏し、指揮杖や楽器が、五年生に引き継がれました。新鼓笛隊も、六年生が見守る中、リズム良く上手に演奏することができました。立派に引き継ぐことができました。

大げやきがまた百年続くように



十七日(金)、六年生が、松山小学校校庭の大げやき前において、学校環境緑化モデル事業完成式典を実施しました。

この事業は、学校緑化を推進する趣旨で、全国の森林・林業・緑化協会の推薦を受け、株式会社社ローソンの「緑の募金」の資金協力を

得て行われているものです。本校の大げやきは樹齢約百年、幹回り四m以上ある巨木です。「げやき教育」を進める本校において、この大げやきは学校のシンボルですが、月日の経過とともに弱っていた。そこで、令和三年度に大げやきの樹勢回復を願って申請しました。今年度に推薦を受け、福島造園様へ依頼して、この度、工事が終了しました。式典では、六年生の堀越悠誠さんが児童代表であいさつしました。また、子ども達が「大げやきの根元に腐葉土を撒いて記念撮影も行いました。この場所に松山小学校が移転し八十五年目です。今後も、学校の大げやきを大切に守り育てていく決意を新たにすることができました。

SDGsの理念



子ども達が世界的な課題を解決するために取り組んでいるSDGsを知り、自らの生活を振り返りながら、解決のためにできることを考える授業を行いました。「誰一人取り残さない」をスローガンに、十七の目標を示し、地球規模の問題を考えました。動画を見たり、四人グループで話し合ったりもしました。すでに、家庭で節電やゴミの減量化に取り組んでいる人もいました。SDGsに対する興味や関心が高まっています。

〈年度末の予定〉
○離任式 二十九日(水)
今年度末で、転出退職する先生方のお別れの式を行います。
○入学式・始業式 四月六日(木)
令和五年年度のスタートです。元気に迎えられよう、春休み中も健康管理をよろしく願います。